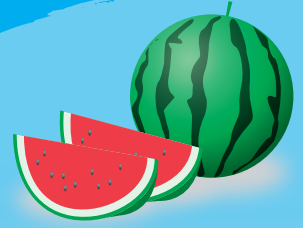




元気はつらつ



議会だより



一小的ウサギの「ミミちゃん」
わたしたちの家族になりました

復興シリーズ第3弾、おらほの浜の主役たち	2～3
6月定例会 次々と集会所が建設	4～7
ズバリ町政を問う(10議員が一般質問)	8～18
委員会活動 町の文化財、町の健康づくり	19
議会・住民懇談会	20～21

No.
149

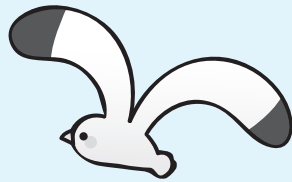
平成29年7月20日

第3弾

おらほの 浜の



飯子浜の皆さん



浜の作業は夜明け前に始まる。
銀ざけの水揚げは、午前1時から。
ホタテ漁は午前2時半に船を出す。
江島のホヤ漁は、5時から6時が
最も忙しい。
みんな頑張っている。



いき じめ
国から一級品と認められた自慢の活



丹精込めたホタテ



女性も活躍



指ヶ浜ダンディズ

復興シリーズ

主役たち

議会も応援しています

小さな巨島、江島



外海で育つ
江島のホヤは絶品



頑張る後継者

2017/07/01

平成28年度 浜別魚種別年間水揚げ表 単位はトン

北浦地区	指ヶ浜	御前浜	尾浦	竹浦	桐ヶ崎
	殻付カキ 366 ホタテ 342	殻付カキ 135 ホヤ 17	銀ざけ 1245 殻付カキ 1227	ホヤ 225 殻付カキ 75	鮮魚 247 ホタテ 117

女川地区	石浜	小乗	女川	高白
	鮮魚 0.8	ホタテ 50 ホヤ 3.8	鮮魚 96	銀ざけ 141 ホタテ 80

五部浦	横浦	大石原	野ヶ浜	飯子浜	塚浜	小屋取
	銀ざけ 483 殻付カキ 282	ホタテ 65 殻付カキ 36	殻付カキ 25 生かき 5	ホタテ 708 銀ざけ 550	鮮魚 577 ホヤ 156	ホヤ 40 鮮魚 1

大沢・針浜	大沢・安住	針浜
	生かき 27	生かき 29

江島・出島	出島	寺間	江島
	銀ざけ 604 ホヤ 378	ホヤ 313 銀ざけ 226	ホヤ 229 うに 125

の場 集会所が続々と建設

平成28年度（改正前）

5割軽減の規定を、総所得から、
控除する金額 1人あたり
26万5000円

2割軽減の規定を、総所得から、
控除する金額 1人あたり
48万円



平成29年度（改正後）

5割軽減の規定を、総所得から、
控除する金額 1人あたり
27万円

2割軽減の規定を、総所得から、
控除する金額 1人あたり
49万円

国民健康保険税の一部改正 保険税軽減額が変わりました

専決処分

※専決処分とは
本来は議会の議決・決定をはからなければならない
事柄を、町長が法に基づき、議会の議決・決定の前に
自ら処理すること

一般議案

6月定例会 あらまし

6月定例会が6月16日から20日までの5日間の会期で開催されました。

第1日目に、一般質問を行い4議員が災害公営住宅、復興事業、駐車場問題などについてたどしました。

第2日目も一般質問を行い6議員が浦宿地区計画、公園のありかた、町民や役場職員の健康などについてたどしました。

土日を休会として、第5日目は一般議案27件（専決処分、条例の一部改正等）、条例の制定2件、補正予算7件を集中審議しました。

その結果すべての議案を原案のとおり可決しました。

税条例一部改正

○長期譲渡所得に係る課税の特例期間を3年延長

○軽自動車税のグリーン化特例期間を2年間延長

○震災等により滅失、損壊した償却資産の代替償却資産に対して課する固定資産税の課税標準の特例措置、最初の4年度分は2分の1



集会所ができればこんなことも

6月 定例会

29年度補正
予算総額
10億9243万円増

町民の交流

字の区域の変更

○飯子浜地区の高台造成地の字名を字前網から字飯子に編入するもの

問

飯子浜の高台移転地区だけでなく、飯子全体を直すことはできないのですか。

答

高台造成地の周りは、山林や墓地になっており、住居ができるようになれば、検討します。



孫の代まで飯子の地名を残せてよかった

繰越

※繰越明許とは、予算計上されているが、年度内に使えず、翌年度に持越して使えるようにすること

○一般会計の36事業
総額10億1040万5333円
○宮ヶ崎地区土地地区画整理事業ほか1事業
総額15億4835万円
○下水道建設事業ほか3事業
総額8億7633万円
○簡易水道事業ほか12事業
総額26億8884万円
以上を繰越としました。

財産の取得

財産名	女川町消防団消防車格納庫（女川地区）	女川町離半島部地区集会所（横浦区）	女川町中心部地区集会所（上五区）	女川町中心部地区集会所（西区）
金額	1825万円	3369万円	6868万円	7473万円
概要	木造平屋建て消防車格納庫1棟	木造平屋建て33坪	木造平屋建て64坪	木造平屋建て67坪
取得の相手	一般社団法人女川町復興公営住宅建設推進協議会			
財産名	女川町中心部地区集会所（小乗区）	女川町離半島部災害公営住宅（横浦区）	女川町中心部災害公営住宅（小乗区）	総合体育館備付備品
金額	3067万円	1億4234万円	2億5520万円	1555万円
概要	木造平屋建て26坪	木造戸建て6戸6棟	木造戸建て11戸11棟	移動式バスケットゴール2対
取得の相手	一般社団法人女川町復興公営住宅建設推進協議会			株式会社 エイシン



ソーラー設置価格は

問

上五区集会所にソーラーパネルを設置予定ですが、設備費用の、10坪900万円は非常に高いのでは。

答

3社からの見積をとり、設計の段階よりもさらに低くしての入札になっています。

財産取得の一部変更

◇災害公営住宅

(尾浦地区)

- ・変更前
5億5825万円
- ・変更後
5億4054万円

◇災害公営住宅

(ずい道地区)

- ・変更前
33億4553万円
- ・変更後
27億5094万円

契約

◇女川町消防水利施設整備事業業務委託

- ・契約金額
6101万円
- ・契約相手方
独立行政法人
都市再生機構

◇女川町水産加工団地、排水処理施設に係る専用管整備事業業務委託

- ・契約金額
1億4520万円
- ・契約相手方
独立行政法人
都市再生機構

一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ10億9243万7千円を追加し、総額を527億8243万7千円としました。

◇歳出の主なもの

- ・土地鑑定評価業務委託料
583万2千円

- ・江島集会所購入費
5506万4千円
- ・復興まちづくり基金積立金
967万7千円
- ・カタールフレンド基金積立金
10億円
- ・江島消防車格納庫購入費

- 1493万7千円
- ・宮城県青少年国際交流推進事業助成金
300万円
- ・集会所購入費
(清水、宮ヶ崎)
1億5400万円
- ・コミュニティ助成事業補助金
250万円

来客用の駐車場は

問

ずい道集合住宅の来客用駐車スペースを検討してはどうですか。

答

来客の駐車場については、86戸に対して110台を整備しています。表示等で迷惑がかからないよう工夫します。

ずい道集合住宅の減額は

問

直接建設費の入札差金によるものですが、かなりの金額を積算したのではないですか。

答

発注時の資材および人件費の高騰によるもので、高止まりが予想より低く推移したためです。

◇出島架橋本体工事に関する基本協定

- ・契約金額
56億1295万円
- ・契約相手方
宮城県

どんな橋ができるの

問

出島架橋は、気仙沼大島架橋と同じ工法ですか。

答

今のところ、気仙沼大島架橋と同じ工法のフローティングクレーン工法か、ケーブルクレーン工法の2通りを検討中です。

問

出島架橋の56億1295万円の金額は妥当ですか。

答

気仙沼大島架橋の工事費を参考にして設定しています。



出来上りが楽しみな出島架橋

サマースクール女川とは

問

青少年国際交流推進事業助成金300万円の具体的な内容とその費用対効果は。

答

今年で3回目です。海外の大学生等100人程で開催。以前の民間主催から県主催に変更した分の負担金です。町内在住の高校生10人は招待枠で無料。宿泊等の経済効果、高校生のキャリア教育、本町の宣伝効果の他、参加した学生の1人が本町に移住しています。



2016、サマースクール出会い・学び

心のケアハウス事業

問 心のケアハウス事業がスタートしました。小さな町でもこの事業は必要で、現在活動していますか。

答 県の不登校対策事業の一環で、前小学校校長含め所員は4人です。現在不登校生徒2人に指導対応の他、心のケアで子どもたちの支援をしています。さらに放課後の居場所づくりにつなげていきたいと思っています。

保育所送迎の効果は

問 通所タクシー借上げ料が補正60万円増で合計260万円です。

試行的に保育所の送迎をタクシーで行ったことの効果はどうでしたか。

答 北浦から7人通所予定で通所バス計上しましたが、実際は2人のためタクシー運行にし、結果として全体で

江島集会所の完成は

140万円の減額です。28年度は試行的に送迎したものの、約10人に対し金額が掛かり過ぎることから、朝仕事で忙しい時間帯の迎えだけとなります。



問 江島集会所購入費が当初より900万円程増加した要因と完成時期は。

答 当初時点で想定療所分のスペースが増えたため、12月完成予定です。

宝くじ助成金の活用を

問 コミュニティ助成金250万円の金額は、旭が丘集会所の備品用ですが、宝くじ助成金は毎年入ってくるのですか。

答 25年度は轟会、27年度は大原北区、28年度に旭が丘区が助成金をもらいました。町を経由して、団体へ何度も申請した結果認められたものです。

寄附金の総額は

問 東日本大震災で、全国全世界から寄附金や支援金をもらいましたが、総額はどのくらいですか。

答 全国全世界から寄せられた寄附金は710件、金額で約2億9100万円となります。とても感謝しています。



ご恩返しは、立派な復興で

人事案件

○人権擁護委員

6月20日の定例会において下記の方々を推薦することに同意しました。任期は3年です。



平塚征子さん(再)
女川南区



鈴木成夫さん(再)
竹浦区



島貫貞行さん(新)
浦宿二区

コミュニティ助成 促進事業とは

問 コミュニティ助成促進事業補助金200万円の内容は。

答 アサヒビールより町に200万円寄附されることから、要綱を作り各行政区に交付するという内容です。

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

ズバリ 町政を問う

10 議員が質問



佐藤 良一議員…………… P 9

- (1) 災害公営住宅の規制緩和を
- (2) 商工会と連携した経営発達支援事業を

阿部 律子議員…………… P 15

- (1) これからの公園のあり方は
- (2) ボランティア活動の今後は

木村 征郎議員…………… P 10

- (1) 地域の連携で孤独死を防ごう
- (2) ふるさと納税制度は地方の活性化に寄与
- (3) 大震災の教訓をどのように伝えるか

伊藤 恵悟議員…………… P 16

- (1) これからの町民の健康意識改革は

宮元 潔議員…………… P 11

- (1) 行政手続のオンライン申請を
- (2) 若者のための定住促進施策を
- (3) 駅周辺の駐車場問題

酒井 孝正議員…………… P 17

- (1) 野々浜小積線の抜本的な道路改良を
- (2) 災害公営住宅等の空き家対策は

高野 博議員…………… P 12

- (1) 住民の安全に最大限の配慮を
- (2) 町民に公表し、意見を聞くべき
- (3) 外付けの階段の増設を

阿部美紀子議員…………… P 18

- (1) 出島を宝島にするために
- (2) 道路の里親制度を取り入れては

平塚 勝志議員…………… P 13

- (1) 行政区周辺環境の管理や清掃は
- (2) 交通標識、郵便ポスト設置等を便利に

阿部 薫議員…………… P 14

- (1) 浦宿地区整備計画は
- (2) 駅北地区周辺の環境整備計画は

あなたも議会を 傍聴してみませんか

■次回の定例会は9月4日からの予定です。

■詳しくは町議会事務局(電話54-3131内線271)へ

お気軽にお問い合わせください。



問 災害公営住宅の規制緩和を

答 一般公営住宅化を目指します

問

現在、災害公営住宅の完成率と供給率は約53％と聞いています。事前登録から3年が経過し、登録者の中には何らかの事情で登録した住宅に住まなくなっている方もいるようです。こういった問題の対策として、町のホームページや広報誌で空き部屋状況等随時受付をしていますが、震災当時、大規模半壊で長年住んだ住居を解体しなかった人やさまざまな事情で解体できず災害公営住宅に入居できない人がいます。

そこで、現在の空き部屋は何室くらいあり、空き部屋が多く出た場合の対策や一般募集はいつ頃になりますか。また、入居後、子どもが増え家族構成が変化した場合、例えば2DKから3DKに変更することができず、変更することができません。

答

町長
町民生活課長

災害公営住宅の空き部屋は既存住宅32戸、今後引渡し予定の災害公営住宅で40戸です。その空き部屋対策としては、再建先が確定していない方の受入先として用意しているほか、6月1日から入居資格を町外の被災された方へも拡大するなどして、空戸数を減らす対策を実施します。さらに、人口減少の防止策・新たな定住者の受け入れ策として災害公営住宅の一般



災害公営住宅の規制緩和を

化に向けて、関係機関と協議を重ね、30年度には運用できるよう取り組みたいと考えています。

また、家族構成等が変化した場合や入居されている方の身体状況が変化するなどした場合は、女川町営住宅住替取扱要綱に基づき、適宜対応します。

商工会と連携した経営発達支援事業を

問

本年3月定例議会において、承認された女川町中小企業および小規模企業振興基本条例と女川町商工会が策定し、平成27年11月に認定され、経済産業省が推奨する経営発達支援の指定を受けた企業が東北では2番目、宮城県で第1号の採択を受け現在活動している企業があります。今後商工会と連携し需要拡大に向けた支援や高付加価値の支援などすべきと思います。女川町商工会では4点のポイントに着目し、小規模事業者の伴走型支援を実現するための支援計画を今後どう生かしますか。

報告提供を商工会を通じ、継続的に実施しています。高付加価値の支援については、事業者の生産性を向上させることで高付加価値化となり得ることから、今後、商工会と連携して生産性向上セミナーを開催する予定です。引き続き、商工会はじめ関係機関と連携を図りながら、それぞれの役割を分担し、需要拡大、高付加価値化の支援を推進していきます。

商工会はじめ関係機関と連携し推進

答

産業振興課長

需要拡大に向けては、事業者の販路拡大を支援するため、宮城県で実施している商談会や物産イベント等の開催情



経営発達支援事業を大いに活用すべき



問 地域の連携で孤独死を防ごう

答 地域コミュニティづくりが重要

問

大震災から6年が経過し、生活再建が加速しています。誰にもみとられずに亡くなる孤独死が県内の災害公営住宅で43人にのぼったと報道された現況で次の点を伺います。

- ①本町で孤独死は何人ありましたか。
- ②本町の住民は震災前は集合高層住宅に戸惑っています。行政、地域が連携して「幸せの黄色いハンカチ」等の具体的活動をすべきと考えますが。
- ③自立再建団地の募集条件が大幅に緩和されましたが周知の徹底を。

答

健康福祉・町民生活・管財営繕課長

- ①平成28年4月以降に自宅で亡くなられた方が6人います。
- ②行政区長や民生委員等と協力し、地域住民同士の支え合う関係づくりに結び付く地域活動の支援に取り組めます。また、集合住宅で入居されている方々同士が顔の見える



高層住宅では声がけが大事

関係を構築できるような仕掛けづくりに努めていきます。

③これまでは、町の広報紙、チラシ、ホームページを活用していましたが、それらに加え、のぼり旗、募集宅地への看板設置、住宅展示場などへのチラシの配置で以前よりも周知を図っていきます。

ふるさと納税制度は地方の活性化に寄与

問

ふるさと納税制度は、災害被災地や地方の市町村の活性化に寄与してきましたが、

制度を堅持しながら支援者拡大に努力

答

町長 総務課長

①税制を通じてふるさとへ貢献する仕組みとして制度が導入されています。

大震災の教訓をどのように伝えるか

問

観光交流エリアは町の表玄関であり重要な顔です。エリア内の震災遺構は大津波の

震災から復興をメッセージとして後世に

答

町長 企画・復興推進課長

①震災遺構として保存する旧女川交番の保存方法については、これまで議会やデザイン会議、町民ワークショップなどを通

※注 流出金額とは 女川町民が、他市町村にふるさと納税したものの

昨今、制度の矛盾も顕在化してきた状況の中で次の点を伺います。

①ふるさと納税の趣旨と総務省の通達をどのように受け止めていますか。

②本町の平成27・28年度

30件の2162万円、流出金額は同じく8件の78万円、24件の240万円となっています。

③返礼割合は、最大でも22%程度と適正な水準であり、見直しは考えていません。

か。

②東日本大震災の最大の被災地として、震災の教訓と復興のあゆみをどのように伝えられますか。

います。

②震災の教訓を後世に伝承していくことは、重要な使命であり、震災遺構や慰霊碑、まちなか交流館を活用し、写真・映像等により震災の教訓、復興の歩みを伝えていきたいと考えています。



問 行政手続のオンライン申請を

答 行政改革の視点から引き続き検討します

問

マイナンバーカードができ、コンビニなどで住民票の写しや印鑑登録証明書を取得できます。「お住まいの自治体によってサービスの内容が異なる場合があります。」と内閣府ホームページには記載されています。

そこで伺います。本町においては今現在どのような状況になっていますか。また今後の予定は。

答

町長
町民生活課長

これまで実施費用の概算見積書等を取得するなどしてその実施の検討をしてきましたが、今現在コンビニでの証明書の交付は行っていないです。

現状のところは、前向きにという話にはなりにくいところですが、行政のスリム化、事務の効率化ということでは、当然対象となってくるものの一つであると認識していますので、費用対効果の部分を含めて、具体的に検討していきます。

若者のための 定住促進施策を

問

若者が本町に住むとしても、なかなか賃貸住宅もなく、また、賃料の問題や、公営住宅にも入居できないなど、一番の住居問題が解決できていません。

①本町は平成27年度に県内一位の36・98%の人口減少率となっています。震災後から28年度までの20歳から39歳までの若者の人口率をお示しく下さい。

②若者のための定住促進施策はどのような取り組みで、その成果と今後の新たな取り組みはありますか。



お試し移住で 4人が女川町民に

答

町長
企画課長

①若者の人口率については、平成22年度末では19・06%、23年度末19・28%、24年度末19・76%、25年度末19・73%、26年度末19・84%、27年度末19・61%、28年度末19・36%となっており、人口は年々減少しているものの、人口率はほぼ横ばいに推移しています。

②NPO法人と連携し、お試し移住プログラムを実施しており、4人が移住し仮設住宅に住んでいます。撤去時のケア、また、今後の移住定住に向けた公営住宅入居のルールなど何かしらの手段を検討したいと思っています。

駅周辺の駐車場問題

問

5月の連休中に、は沢山の観光客で駅周辺が賑わいをみせました。とても喜ばしいことですが、一方では、国道の大混雑で町民の生活への不便や迷惑をかけることになってしまいました。

①現在の駐車場の見直しを。

②イベント時や、大型連休などには交通誘導員または、駐車場案内看板設置の徹底を。

復興事業の進捗状況を 勘案し適切に整備

答

産業振興課長

①現在、駅前商業エリアの駐車場は、町営ハマテラス等を含め約330台となっています。

今後、役場庁舎や観光交流エリアを合わせると650台以上の駐車場が確保されるほか、鷲神周辺エリアにも500台程度は確保できるものと考えます。

②引き続き、イベント主催者等との役割分担を明確にしなが、適切な事業運営に努めていきます。



5月の連休中、大混雑する駅前周辺

高野

博議員



問 住民の安全に最大限の配慮を

答 知見を積み重ね進めることが重要

問

原発の危険から住民の安全を守る行政の役割について町長の見解を伺います。

①新潟県では福島原発事故の原因究明、健康への影響、避難計画の3つの検証を徹底的に行い、住民の安全が確保できるかどうか自らに問いかけています。この取り組みに学ぶべきと思いますが、②8000ベクレル以下の放射性指定廃棄物を一斉焼却することは、放射性物質を拡散させるだけであり、放射性物質はコンクリートの建物の中に安全に管理、保管し、時間をかけて減衰させる以外にないと考えますが、いかがですか。

③年間20ミリシーベルト以下だからと、帰還を指示し、補償を打ち切るという国と東電のやり方は、まさに福島県の人々を切り捨てて以外の何物でもありません。これが「国が責任を持つ」という実態ですか。町長の見解を伺います。

答

町長
町民生活課長

①宮城県の見学会でも技術的な確認はしていくものと認識しており、政府や新潟県での知見、原子力防災訓練でも知見を積み重ね進めていくことが重要と考えています。

②県内にある8000ベクレル以下の農林業系廃棄物は各地で保管しています。それを解消するために全焼却ではなく、すき込み等の方法で、全域で量を減らすことが現実的な対応と思われます。国、県、町としての役割部分を踏まえ検討します。

③最大限のサポートがなされるべきと考えますが、福島県の皆さんがリストアップするため、その人に合った選択肢、応援体制の構築が望まれます。

問

平成30年度の実施に向けた国保の県単位化の問題について、町長の見解を伺います。

町民に公表し、意見を聞くべき

①計画の概要とスケジュ

ールを示されたい。

②事業費納付金、標準保険料率を公表すべきだと思いますか。

③町独自の負担軽減策など今後も尊重されるのですか。

国保制度改革の情報発信に努めます

答 町長
町民生活課長

①県と町が共同保険者となり、県は財政の責任主体、町は資格管理、窓口業務等を行います。スケジュールは県からの費用算定数値で試算し被保険者等町民の代表である国保運営協議会、議会へお示しします。

②事業費納付金、それに関連する保険料率は適宜示していきます。

③負担軽減策については全体的な国保制度のバランスの中で煮詰めていくべきものと思います。

外付けの階段の増設を

問

大原住宅の4号棟と5号棟にエレベーターが1カ所で、階段は両端にしかなく、高

か。

階段増設は引き続き検討します

答 町長
町民生活課長

入居者の生活の利便性向上に必要なことと、また有事に備え経路を確保することも必要ということとは認識しています。階段の増設は騒音等の

問題もあり時期は明示しかねる状況です。そういった中、入居者同士のコミュニティが大切と考えますので、その仕掛けづくりを実践しながら階段増設は検討していきます。



ここに階段を



問 行政区周辺環境の管理や清掃は

答 環境美化はできる範囲で協力を願う

復興の最優先課題としている住環

境整備は最終段階となり多くの方々が新たな高台地区に住まいを移されました。

そして、新たなコミュニティ活動、区民活動もできています。

しかし、震災前と比べて人口が減少し、高齢化率も高くなっており、区周辺環境の清掃活動などが、従前のように難しい状況もあります。

そこで、次の点について伺います。

①新たな行政区内と半島地区にある低地部への道路の管理と清掃についての考えは。

②このような状況で、震災前実施していた、町全体のクリーン作戦の実施について。

答

町長
建設・管財営繕
町民生活課長

①将来的に町の管理施設が増える中、維持管理費が町財政を圧迫して後の世代に負担をかけないよう、財政とのバランス



みんなできれいに、みんなのまちを

交通標識、郵便ポスト

設置等を便利に

問

新たな高台地区
内には、道路に歩
道とを区分する白
点について伺います。

① 新たな高台地区の交通標識の設置について、特に、住民がすでに住んで

また、地区内、特に半島地区に郵便ポストを設置するという声もあります。

② 新たな高台地区を含めた、新しい町づくりの中

どちらも町自体ではなく関係機関との問題では
でのポスト設置の考えは

関係機関と協議し、設置に努める

答

復興推進
企画課長

①高台地区の交通標識は、県公安委員会が地区内の交通状況や現状状況を見ながら交通規制基準に基づき、一時停止の標識や路面表示を設置する予定と聞いています。

し、設置を決定するものですが、町としても住民の利便性向上のため、設置場所の用地提供などバックアップしながら、事業者に働きかけていきます。

今後も住宅の建築が進

み、周辺環境や交通状況等が変化することから、現場状況を見ながら関係機関と協議し、設置に努めていきます。

②郵便ポストは事業者が



交通標識で安全な地域に



問 浦宿地区整備計画は

答 時期を見て計画を策定します



整備起点となる旧一小校舎と校庭

問

離半島、中心部を含め、復興事業が順調に進んでおり、街が活き活きしつつあります。

その一方で、浦宿地区については震災前の状況のままで、いまだ旧一小校庭には仮設住宅が設置されていますが、住宅撤去後における校舎や校庭の利用計画は一体どのようなになっているのか、全く分かりません。今後の浦宿地区全体の整備計画を伺います。

答

建設課長

平成24年度に策定した万石浦地区整備計画に基づき水害から守る各種事業を実施しているところですが、今後の浦宿地区は、国道バイパスや駅周辺の整備が完了すれば環境が大きく変わります。

地域の核となる第一小学校跡地は、仮設住宅撤去時期に合わせて、地区からの要望を聞きながら道路や公園などの整備計画を策定します。

駅北地区周辺の環境整備計画は

問

大原住宅（災害公営住宅）への入居も済み、旧大原地区も住宅建築が盛んに進み生活環境も整い、住民の落ち着いた会話と笑顔からは安堵を感じます。

しかし地区環境を目にすると震災から6年3カ月経過しますが、このままではいいのかと疑問を持ちます。次の点について伺います。

- ①旧大原地区十二神沢上流における倒木、震災ゴミの除去作業の見通しは。
- ②周辺にある女川地区共同墓地を植栽で囲い込む計画案は、どこまで立案され、植栽時期は。
- ③共同墓地周辺、隣地町有地の所属行政区は。また環境整備を考慮し、墓参り時のゴミ集積場の設置を早期にすべきではないでしょうか。

答

総務・産業振興・町民生活・復興推進課長

①倒木の現地は民有地のため所有者に対応してもらいが必要であり、今後、現地の状況を情報提供します。

また、震災ゴミについては、一度撤去作業を行っています。残っているゴミ等は、随時、職員および業者に委託して撤去作業を行います。

②地元や各ボランティア団体との連携を模索しながら、墓地と周辺環境の調和が保てるよう検討しているところで、早めの対応に努めます。

③共同墓地の行政区については、大原南区が近隣の行政区と認識しています。

また、共同墓地の収集は、他の墓地で、檀家毎に持ち帰っているような実情などもありますので、今後検討します。



駅北広場にゴミ集積場の設置を

所有者等と連携して環境美化に努めます



問 これからの公園のあり方は

答 各地区の意見を伺いながら進める

問

議会・住民懇談会の中でも出されたことですが、次の点について伺います。

①少子高齢化の中で、新たに整備される公園に、高齢者向けの体力維持目的等の器具（ぶらさがり器具等）を設置してほしいとの声が出されています。年を取っても健康で元気に暮らせるための施策の一つとして必要と考えますが、いかがですか。

②運動公園のアスレチック広場は、大人も子ども

も楽しめる憩いの場として定着していますが、震災前と比べて利用者が減少しているのではないのでしょうか。他と比べても決して見劣りしない施設です。利用者の増加と町外から人を呼び込む工夫が必要と考えますが。

③アスレチック広場の安全対策は十分ですか。

答

教育長
復興推進・
生涯学習課長

①街区公園の整備は、主にベンチや植栽などを配置する計画としており、高齢者向け体力維持目的等の器具の設置は、現在、

大人の遊具も
欲しいですね



みんなが集える公園に
リニューアルを

予定していません。

今後整備に際し、各地区の住民の意見を参考にし、設計することとしており、器具についても地区の意見を聞いていきます。

駅前のにぎわいの 相乗効果に期待

②NTTドコモ東北応援社員募金事業助成金を活用し、4月から全面利用できるようになったので、今後再開したことを広く周知するとともに、ウォーキングコースの設定等工夫しながら駅前にぎわいとの相乗効果に期待します。

また、子どもたちの遊び場の確保という視点から学校での活用等について検討します。

③遊具点検を業者に委託しているほか、職員による巡回点検も随時実施しています。

ボランティア 活動の今後は

問

高齢化が進む中で、元気な高齢者がボランティア活動に参加することは、自分自身の生きがいでもあり、町としてもさまざまなイベント等に協力してもらい、大変助かっています。しかしながら、今後のあり方として、全て本人の善意のみに頼ってよいのでしょうか。

そこで伺いますが、
①現在のボランティア登録は86名（社協だより）ですが、実際の活動人数、活動状況は。
②東京都稲城市で実施している介護支援ボランティアポイント転換交付金制度や、アトム通貨発行等で、少しでもボランティア参加者の増加につなげる工夫が必要と思いますが、いかがでしょうか。

答

健康福祉課長

①平成28年度の実績は、活動人数が48人、活動件数が119件です。
②震災後ボランティアの登録者については、年々増加傾向にあります。本町としては、将来的には本町に合った介護支援に捉われない有償ボランティアに馴染む活動場所や活動内容を社会福祉協議会と協議していきます。

また、介護支援活動としては、ゴミ出しや家の掃除など地域の皆さんで協力しあう信頼関係やお互い様の構築が必要ではないかと考えており、そのためには、例えば各行政区の老人クラブなどと相談しながら進めていかねければならないと考えています。





問 これからの町民の健康意識改革は

答 関係機関との連携と情報共有が重要

問

女川町議会では、昨年の9月定例会

において「健康なまち宣言」を決議しました。同年12月からは健康福祉課で始めた「健康100日プロジェクト」にも全職員で参加し、健康な町づくりを盛り上げてきました。

しかし、町民への周知や健康意識改革には十分だと思っています。

そこで町長の見解を伺います。

①町長が言う「町民1人ひとりがプレイヤー」として健康な町づくりをするうえで、設備整備だけでなく、町民1人ひとりの意識改革や雰囲気づく

りに向けての方策は。

②一度も徒歩通学をせずに卒業する子どもも出てきていますが、バス送迎の終了予定は。

③役場での昼休み終わりにラジオ体操の曲を流すなど、予算をかけずに職員の健康意識を高める方策があるのでは。

答

町長
教育総務・
総務課長

①子どもや働き盛り世代および高齢者まで、意識面や環境面の整備を行うことで健康意識の高い町民や健康経営に取り組む事業者を増やし、小中学校や教育委員会、さらに

は町内各事業所や地域医療センターなどの関係機関と協力・連携し健康についての情報を共有しながら各種事業を推進していきます。

②スクールバスの運行については、道路などの整備状況を見て判断することとしており、現状では歩道や防犯灯が未整備の箇所が多いことから、当分の間はスクールバスによる送迎を継続します。

③復興事業が伸展するなかで、職員の健康保持対策は重要な課題と認識しています。ラジオ体操の提言は、意識改革の一環として今後取り入れていきます。



誰もが知ってるあの曲が流れたら



バス送迎でも、身体をつくるのは今だぞ



問 野々浜小積線の抜本的な道路改良を

答 現道拡幅を検討します

問

野々浜小積線は、住民生活道路、原子力発電所への通勤道路、復興事業に伴う大型車両道路として重要度の高い町道です。先般の議会・住民懇談会で地元から道路改良の要望がありましたので、同僚議員と一緒に朝6時から8時まで現地調査しました。原子力発電所への通勤道路として、野々浜小積線を多くの方々が利用していることを実感しました。

野々浜小積線は、コバ



拡幅工事が急がれる野々浜小積道路

ルトラインとの交差する位置にあり、大型車両は非常に走行しにくい道路です。県事業で野々浜、飯子浜道路災害復旧事業を実施しており、平成33年3月完成予定と聞いています。計画では野々浜小積線を横断するルートとなっており、町と県の協議が始まっていることと思います。野々浜小積線の改良工事を検討すべき時期にきていると思いますが、見解を伺います。

答

建設課長
現在、復興工事車両により交通量が増えています。長期的観点からは宮城県が整備中の女川牡鹿線復興道路が完成すれば走行性が向上し、五部浦へ向かうコバルトライン利用車両の多くは復興道路に移り、野々浜小積線の交通量は軽減されると予測しています。

本路線の抜本的改良は地形上、大きな用地と多額の費用を要する等の理由から事業化は難しく、現実的な対応として、現道の拡幅ができる箇所について検討します。



入居を待つ「ずい道公営住宅」空き家対策は

問

広報に災害公営入居者募集中が掲載されており、空き家対策が急務です。現在、仮設入居者に対して意向確認調査をしています。そこで伺います。

災害公営住宅等の空き家対策は

①回答期限は5月末ですが、配布数、回収率は。②公営住宅は入居者資格を定めています。震災後民間住宅が減少し、女川町内に住みたい人にとって厳しい状況です。公営入居者基準の見直しが必要だと思えます。

答

町長
町民生活課長

全体調和につながるルールを検討します

①仮設住宅の供与期間手続に関する届出書を660名に発送し、現時点で約60名の方から提出を得ています。

その回答の内約30世帯が特定延長（来年3月31日以降一定の理由により仮設住宅への入居が認められること）に該当するところえています。

②民間の空き家数が足りない現状において「公」がその役割を果たしていかなければ、これからの生活を本町で、ということに比べられないのかと思っています。

公営住宅の本来目的、今後を見据えながら、全体が調和するような策の一つとして公営住宅入居要件の見直しを考えていく必要があると認識しています。



問 出島を宝島にするために

答 出島の将来像は島民の意見を反映

※注 「ゴへ島活」

出島、寺間の人びとを中心とした、島の活性を企むための活動



縄文のミステリーロマン、調査を

問

3月22日、出島
架橋安全祈願祭が
あり、いよいよ事業が始
動しました。

出島を宝島にしようと
する島の皆さんの熱意も
大きく、町でも「ゴへ島
活」など、側面からの支
援をしています。出島の
振興、活性化をさらに応
援するために

①島には宿泊施設があり
ません。
今後、ボランティアが
訪れた場合等、学校や教
員宿舎の活用はできま
すか。屋外でテントを張
つたり、炊飯できる場所
はありますか。災害公営住

答

町長
教育長
生涯学習・企画・
管財営繕・
産業振興課長

宅で民泊はできますか。
②出島には、縄文時代の
配石遺構があり、昭和35
年、小牛田農林高校郷土
研究班が調査しています。
島の人たちも、下草刈り
など保存に努めています。
貴重な遺跡が荒らされ
ないよう、きちんと調査、
保存すべきでは。

①教員宿舎等は、水道な
ど止まっており、活用で
きる状況でなく、区長か

らはボランティアの番屋
や集会所の利用は可能と
聞いています。どうして
もテントを張ってという
ことであれば、火気使用
を考えると仮設住宅跡地
などの広い場所は、危険
性は少ないと思います。
災害公営住宅は、災害で
家を失った被災者に国の
補助を受けて供給する
という目的があり、民泊は
馴染まないと考えます。
出島の将来像は、島民
の意見を聞きながら離島
振興計画に反映させるよ
う取り組んでいきます。

文化財保護委員会に 諮問し判断します

②出島配石遺構群の調査
については、必要性の有
無も含め、文化財保護委
員会議等の意見を聞いた
うえで判断します。
保存については、定期
的な除草や看板を再設置
する等、遺跡周辺の整備
保存を図ります。

道路の里親制度を 取り入れては

アダプト・ロー
ド・プログラムと
いって、企業や住民、各
種団体と協定を結び、道
路の一定区間の美化を任
せる仕組みがあります。

①経費削減、自立心、自
治意識向上のため、積極
的にこの仕組みを取り入
れませんか。
②町の右折禁止ポールが
灰色のため見えにくく、
特に夜間認識しづらいと
の声があります。
せめて、反射テープが
見えるよう工夫してもら
えませんか。

公共施設を対象に 導入を検討します

建設課長
①里親制度と同様の
「道路協力団体制度」
があり、今年5月、プロ
ムナードの協力団体とし
て女川みらい創造株式会
社を第一号として指定し
ました。今後、新たな町
づくりをしていく中では、
行政による管理だけでなく、
地域住民や企業と一
体となって維持管理を考
えなければなりません。
道路に限らず、川や公
園、緑地など、公共空間
全般の管理について制度
の導入を検討します。
②ポールに「右折禁止」
の表示シールを貼り、改
善します。



不恰好も愛嬌、安全第一(前と後)

産業教育常任委員会報告

テーマ 女川町内の文化財の現況について ○調査期日平成29年5月18日

調査概要

- 貴重な文化財の現況、また観光や教育等に有効活用できないか。
- 21の指定文化財と10の指定外文化財がある。
- 国指定は天然記念物「江島ウミネコ、ウトウ繁殖地」として荒藪小島・足島の2島
- 県指定分は、1つ目は笠貝島で見られる天然記念物「球状班レイ岩」で、2つ目は江島の久須師神社の祭礼で奉納される無形民俗文化財「江島法印神楽」である。
- 町指定分は18で塚浜のタブノキ、三十三観音碑、金比羅大権現碑、波切不動尊等。



町内最古の板碑(針浜)

調査結果

- これらの文化財が何の意味で建てられたのか、何のために祭られたのかなど疑問点や情報が不足している。
- 文化財の冊子については管理のためのものであるためわかりにくく、一般住民向けに和暦と西暦を併せて表記するなどわかりやすい冊子を作るべき。
- 震災で被災した文化財のなかで鷲神公園に仮置きしてある石碑等は、元の地域に戻し、地域おこし等に活用すべき。
- 紙芝居などを作り、文化財や独国和尚の歴史、功績などを未来の子どもたちにわかりやすく伝え興味や誇りを喚起すべき。
- 町内ランチマップの中に遺跡巡りも取り入れ、女川の味を楽しみながら町の観光の発展につなげてほしい。

総務民生常任委員会報告

テーマ 町民の健康状態について ○調査期日平成28年10月21日、平成29年2月9日、4月14日、5月23日

調査概要

- 平成26年度では高血圧を治療している人の割合が他自治体と比較すると10%高く、糖尿病を治療している割合も高い。健診受診率は50%となっており、半分が受診していない状況である。
- 健診の課題はメタボリックシンドロームである。
- 町民は運動習慣がないので、健康意識を高める必要がある。そのため、ロート製薬、アスヘノキボウと連携協力し「女川健康プロジェクト」を始動した。
- 地域医療センター齋藤センター長を迎え、「町民の健康意識の向上と健康診断の受診率向上」について伺った。

調査結果

- 現実的な受診率の目標を決め、目標に近づける努力が必要である。
- 目標達成の手段として、各地域に出向き健診データ等を用いて身近な健康の話をすべきと思い、議会懇談会に保健センター職員にも同行してもらい、「町民の健康」をテーマに大切な財産「健康」を議会と行政と一緒に住民に訴えかけてきた。
- 今まで以上に住民が健康に関心を持つよう啓発を図りたい。
- 議会だけで「健康なまち宣言」をするのではなく、町全体で「健康なまち宣言」をすべきである。

閉会中の継続調査

○産業教育常任委員会
フィッシャリーナについて

○総務民生常任委員会
町内の交通対策について

聞かせて下さい



今年の議会・住民懇談会は、開催地区を集約してみました。今後復興に伴い新しい行政区が出ていく中、各地区の区長さんの意見を聞きながらより良い議会・住民懇談会を目指します。

Q 清水仮設から役場まで迂回路なので遠回りになっている。歩く人のことも考えてほしい。

A 安全の確保を第一に考えています。10月末宅地造成の完了と同時に、駅前清水線が歩道を備え完成する予定です。10月まで不便をかけますが、安全確保のためご協力下さい。

(復興推進課より)



会場 期間：5月8日～5月11日 参加者数合計214名	
A班 江島旧診療所 小乗仮設談話室 旭が丘集会所 勤労青少年センター 浦宿1区集会所	薫子博 阿部律 阿部高野
B班 清水集会所(清水2区) 飯子浜仮設談話室 野々浜集会所 清水仮設集会所(仮設住宅)	美紀子 阿部孝正 酒井公雄 木村
C班 石浜集会所 大原北コミュニティプラザ 大原南集会所 女川南集会所	潔志郎 元塚勝 平木征
D班 寺間集会所 桐ヶ崎集会所 蟹田仮設談話室 指ヶ浜集会所 バイパス西仮設集会所	恵良公義 伊藤藤 佐藤鈴木

やっぱり欲しい
デマンドタクシー

広域避難計画は

Q デマンドタクシーはどうなっているのか。議会でも議論されているようだが、高齢者の運転問題もあって免許返納の話もある。どのような議論をしているのか。

A 何度も町当局に對して、議会で訴えているが、前向きな回答が得られない。声を上げ続けていきたいと思います。

Q 広域避難計画には避難先が栗原市だけなのか、また住民への周知方法や栗原市までの道路は大丈夫なのか。

A 宮城県内では栗原市となっていています。栗原方面が汚染された場合は、宮城県の方で調整し、県外へ避難するようにになります。また避難経路は複数必要だと思いますが、現在は新規道路等の計画はありません。

(企画課より)



その地区の課題や活動を懇談会前にもっと見てほしい。その地区を知った上での懇談会ならより良い意見が出ると思う。

(浦宿1区
石森さん)



気になる今後の財政

Q 復興後の町の予算はどのように変わりますか。

A 現在の予算は、復興のための予算がほとんどで、復興事業が終われば元に戻ります。復興後は身の丈に合った予算になります。

Q 女川原発が無くなると、町のお金はどうなりますか。

A 再稼働しないと電源三法交付金(8億円)は入らなくなりますが、今は防潮堤工事等で固定資産税が入っていますが、少しずつ下がってきます。

お金が不足すると国から地方交付税が入る仕組みになっているので、再稼働してもしなくても、大きな財政負担にならないと思います。

みんなの声を

島特有の悩みも

Q 島の船着き場から住宅地までのアクセスが困難。特定の住民の車に乗せてもらっているのが現状で、一個人に負担がかかりすぎているが対策は。

A 出島のさまざまな問題に関して島内の協力が得られなければ解決しない問題もあり、今後は離島振興計画をたて執行部と島民との意見交換の場を増やしていきます。

Q 出島架橋が完成すると、定期船は江島住民のみの利用となる。江島の負担が多くなるのでは。

A 江島航路一本になるので、利用状況をみてシーパル汽船と検討します。
(企画課より)



新しい清水の集会所は既存の地区と合同なので不安もあるけど楽しくしたいですね。
(清水区勝又さん)

町の健康づくり

Q 総合健診等、震災前のように地区で受けることはできないのですか。

A 地区住民の7割程度を受診者がいるので可能です。地区のみんなで声掛けして健診を受けましょう。

隣近所との挨拶は大切

Q 高齢化が進行し、慣れない地域での孤立化や孤独死が心配されるが、対策は。

A 生活再建が進んでおり、慣れない地域での新しいコミュニケーションづくりが重要です。町、社会福祉協議会、行政区等が連携して孤立化や引きこもりの防止に努めていきたいと思います。

鹿対策のため、高台法面の芝生が定着しないので網で囲ってほしい。

A 全体をフェンスで囲むのは、財政的に厳しい状況です。吹付けは、植生の不具合箇所については原因を調査します。
(復興推進課より)

次の世代へ

Q 小中一貫校が予定されているがメリット、デメリットは何か。

A 小中一貫校にもいろいろな方式があり、メリットは9年間の長い期間の中で義務教育全体を考えながら実施できること。デメリットは小学校、中学校のメリハリがなくなることです。

こんな声もありました

●いつも同じ人が参加しているの、参加したことの無い人にもっと顔を見せてほしい。今回は保健センターの職員も参加してくれたので健康に関する話も出来て良かった。
(旭が丘Hさん)

●一生懸命説明してると思う。(大原南Kさん)

●議員さんの話が長過ぎる。もっと聞き上手になつて。

●保健センターの職員が参加してくれたので、今まで聞く機会が無かった地域の健康問題を聞けてよかった。

(清水区Kさん)

●地区の現状を知ってほしい。改善できることは一緒に役場に言い続けてほしい。
(御前浜Aさん)



＊ラキラ・いきいき＊

みんなでつくった

ペタンク場



真剣なまなざし



目標にむけて



今日はこのメンバーで練習です

大原北区
ペタンク＊ふろふろ会

和気あいあいとペタンクの練習に励む皆さんをたずねました。

7月6日、ちょうど火曜日の午後3時、運動公園住宅の7号棟のそばにつくられた立派な練習場に、次々と会員が集まってきました。さっそく阿部一雄会長さんが、3人1組でチームを編成しゲーム開始です。試合が始まると真剣そのものです。

役場から、駐車場の一角をペタンク用に開放してもらい、区の役員のみなさんで、砂や砂利を入れて、ローラーで整地したとのこと。5月に完成したときは餅まきをし、お被いをしていただきました。

伺った時、自発的に会員達が日陰を作ろうと簾を張ってくれました。

「区民みんなが集い、健康で明るく過ごしてほしい」と、行政区の事業に組み入れています。会員は現在31人ですが、誰でも参加でき、火、木、土の午後3時～5時まで楽しんでいるそうです。

(鈴木区長さんの話から)

●あとがき●

表紙のウサギの「ミミちゃん」は、女川第一小学校で飼っていた「ブラッキー」の子どもです。

一小のウサギたちは、震災後、一小の避難所や仮設住宅の人たちが世話していました。その後、里親を探し、みんな新しい家族の元へと引きとられていきました。

「ミミちゃん」も新しい家族、お姉ちゃんたち、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんと楽しく暮らしています。

ペットが幸せに暮らせる世の中は、平和な証拠です。議員一同、これからも平和な社会を築くよう努めます。

皆さんの御意見をお待ちしています。

編集委員長 阿部美紀子

議長	長木村公雄
委員長	阿部美紀子
副委員長	阿部律子
委員	伊藤恵悟
〃	宮元潔
〃	阿部薫
〃	高野博